

(案)

令和3年3月26日

御嵩町長 渡邊 公夫 様

御嵩町総合計画審議会

会長 益川 浩一

御嵩町第五次総合計画後期基本計画について（答申）

令和2年7月10日付け御企調第48号で諮問のありました御嵩町第五次総合計画後期基本計画（案）について、慎重に審議した結果、原案を適当と認め、下記の意見を付して答申します。

記

- (1) 御嵩町が「環境モデル都市」として、低炭素・脱炭素社会の形成に努めていることは誇るべきことであり、本計画においても御嵩町の主たる施策として推進していくこと。
- (2) 持続可能な開発目標としてSDGsが世界中で掲げられており、行政の施策はそれらに関連する事項ばかりであることから、御嵩町の施策とその結果がSDGsに資するものとなるよう実行していくこと。
- (3) Society5.0など、先進技術を用いた新たな概念が国において提唱されていることから、本計画においてもこれらの時流に対応した施策を展開すること。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の収束に向け、職員の皆様においては全身全霊で対応されていることと推察します。豪雨などの災害のみならず、こうした感染症に対しても、リスク管理を徹底し、その脅威から町民を守るという気概をもって事業を展開すること。
- (5) 現在進められている新庁舎関連事業においては、災害時の拠点のみならず、町民が利用しやすいことを念頭に置いた上で、十分な検討を重ねたうえでの事業実施に努めること。

以 上